

# まちづくりニュース（第3号）

## 第3回「楽々まちづくり活動」ワークショップ 開催報告（速報版）

### 1. 開催概要

日時：平成22年10月12日（火）18:30～20:40

会場：苗穂記念館2階

参加者：苗穂連町役員・福まち・民児協関係者16名＋湯浅会長・清水所長・事務局4名

### 2. 前回までの振り返りと第3回の目標

#### (1) 第1回ワークショップ：苗穂東地区「まちづくり活動」の棚卸し

WSの成果：苗穂東地区「まちづくり活動シート」（第2回で配布）

1. まちのにぎわい・交流づくり：イベントの開催概要を整理
2. 日常生活環境づくり：会運営や交通パトロール等の日常の活動概要を整理
3. 日程表：WSで出された活動に関する日程を工程表に整理

WSのなかで出された「まちづくり活動」の課題

1. 協力体制や組織の連携不足
2. 活動スケジュール・運営の同時進行による負担
3. 活動方針や目的の見直しが必要（参加者減・マンネリ化・ニーズの変化）

#### (2) 第2回ワークショップの成果と第3回ワークショップの目標

第2回WSの成果：苗穂東地区「まちづくり活動の課題・問題！！総まとめ」（別紙参照）

1. 参加者・担い手が増えない
2. 運営スタッフの負担が大きい  
根本的な課題  
1) 精神的な負担（役割の固定化・重複化）  
2) 相互理解不足による不満（関わる人たちの温度差・共有不足）  
技術的な課題  
3) 準備に追われる不安（進行管理）  
4) 時間的な負担（同時進行・スケジュールの重複）

第2回WSで出された「まちづくり活動の課題・問題」への「対策アイデア」（別紙参照）

参加しやすい仕組みづくりによる担い手拡大      役割の分担・応援体制の検討  
進行管理の見直し・整理      まちづくり活動の負担軽減・見直し・精査  
情報共有・相互理解の促進

第3回ワークショップのテーマと目標

**第3回テーマ：苗穂東地区「楽々まちづくり活動」を考えよう！**  
**part 1**

～目標：「レインボーサマーフェスティバル」と「ふれあい運動会」を題材

## 2. 第3回の参加者（グループごとの50音順で表記：敬称略）

### Aグループ：4名

市橋 岩吉（財務部長） 中村 幸八（単町保健衛生部長）  
村田 豊美（福祉部長／総務副部長／ふれあいテン運営委員長／社協常任理事）  
吉 正男（防犯部長）

### Bグループ：6名

安保 健一（総務部副部長／健康づくり運営委員会／アマとホップ）  
内山 恵子（青少年育成部部长／地子連会長／民生委員）  
菫蒲川 正広（交通対策部副部長） 菅野 美智子（ふれあいテン事務局次長）  
八田 力（連町副会長・総務部長・社協副理事長・副まちネットワーク会議副会長）  
吉 美智子（福祉部副部長／ふれあいテン事務局長／健康づくり運営副委員長）

### Cグループ：6名

大窪 学（体育振興部副部長） 片山 朋子（女性部部长／健康づくり運営副委員長）  
合田 紀子（ふれあいテン事務局次長／福祉部長）  
志田 敏江（青少年育成部副部長／地子連副会長／民生委員）  
道島 博（防火防災部副部長／区子連） 渡辺 一雄（青少年育成委員会会長）

### 事務局：

湯浅（連町会長）、清水（苗穂東まちづくりセンター所長）  
俵谷、佐藤、近藤、井上（株式会社ノーザンクロス）



### 3. ワークショップのようす

#### 1. 開会あいさつ

まちづくりセンター所長・清水氏より開会挨拶



#### 2. ワークショップの進め方

事務局（株）ノーザンクロスより、これまでの成果と今回のワークショップの目標・進め方を説明

#### 3. グループワーク

苗穂東地区「楽々まちづくり活動」を考えよう！！  
part 1

対策アイデアの抽出：

第2回で出された「まちづくり活動の課題・問題」への「対策アイデア」の書き出し・意見抽出を実施

今回は、特に最も大規模で多くの皆さんが関わる「レインボーサマーフェスティバル」と、そのあとのスケジュール的に厳しい状況下で行われる「ふれあい運動会」に絞って具体的に考える

< 課題・問題 >

- 1) 精神的負担      2) 相互理解不足による不満



対策アイデアを発表しながら、意見交換  
書き出した「対策アイデア」について、発表しながら模造紙に貼付・意見交換（繰り返し）

まとめ～

対策アイデアと積み残したアイデア素材を整理



#### 5. 各グループの発表

- ・グループごとに担当を決め、まとめを発表
- ・参加者全員で確認・共有

#### 6. まとめ・次回予定確認

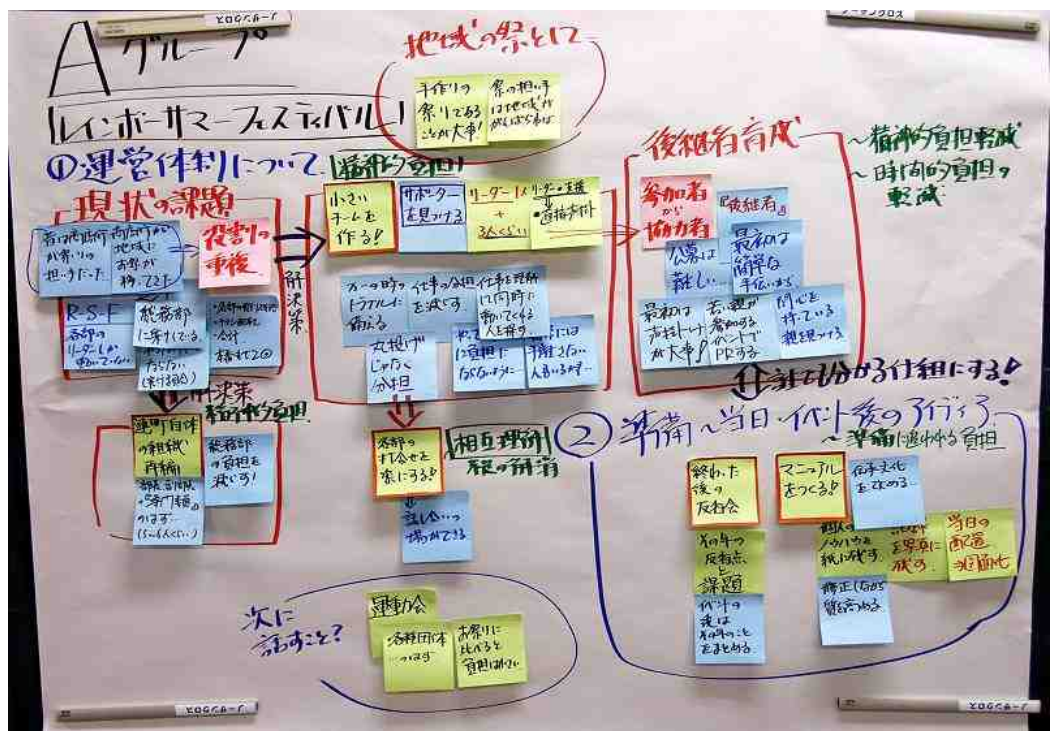
#### 7. 閉会あいさつ





#### 4. 各グループのまとめ (模造紙)

##### Aグループ



「レインボーサマーフェスティバル」の主な対策イメージ

##### 精神的負担への対策：

- ・ 運営体制の見直し、連町自体の組織再編
- ・ 部長・副部長 + 専門委員の体制を復元
- ・ 小さいチームをつくり、仕事の分担を減らす (リーダー 1名 + サブ 3名くらい)
- ・ サポーターをつくる

##### 後継者の育成

- ・ 参加者から協力者へ
- ・ 最初は簡単なことから
- ・ 声かけ、まずは若い親の参加するイベントから

誰にでも  
わかるように!

##### 相互理解不足による不満

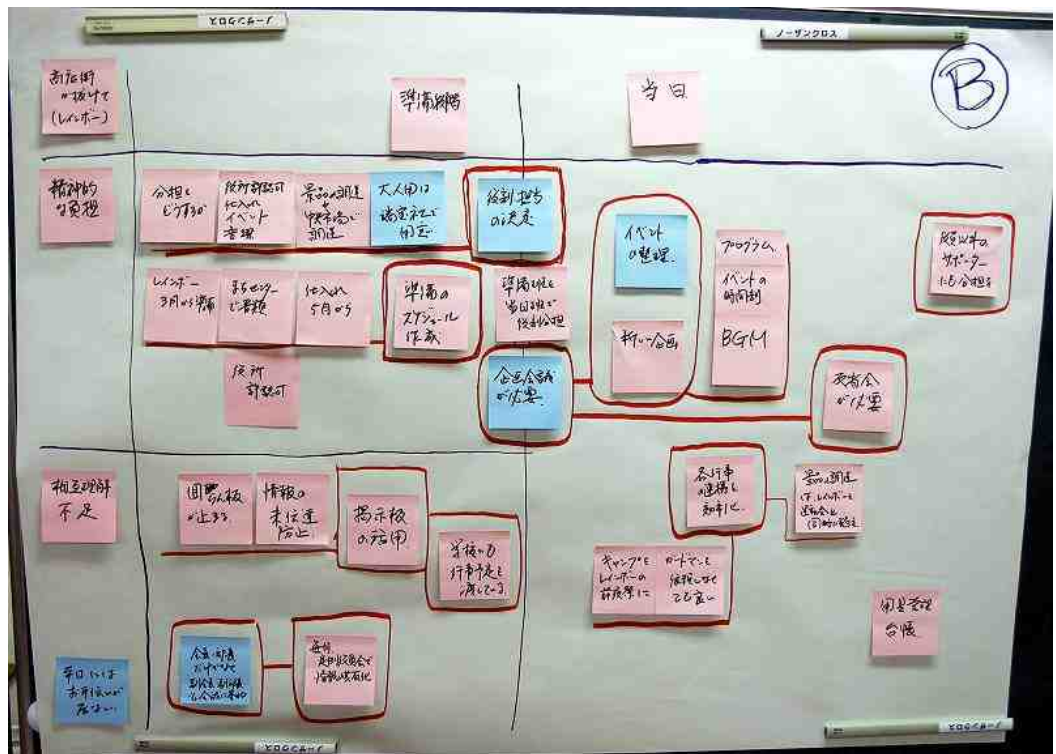
- ・ 打ち合わせの密な実施

##### 準備に追われる不安：マニュアルづくり

- ・ 個人のノウハウを集約・ペーパー化
- ・ 当日配置の図面化
- ・ 終了後の反省会を実施し、修正・追加・充実化



## Bグループ



### 「レインボーサマーフェスティバル」の主な対策イメージ

相互理解不足による不満への対策：

- ・情報の未伝達防止（掲示板の活用・学校への行事予定の連絡）
- ・会長・部長だけでなく「副」も会議にもっと参加
- ・定例役員会で情報の共有化

精神的負担への対策：

- ・役割・担当の決定
- ・準備班と当日班で役割分担
- ・サポーターへの役割分担

準備に追われる不安への対策：

- ・企画会議が必要
- ・新しい企画づくり
- ・反省会が必要

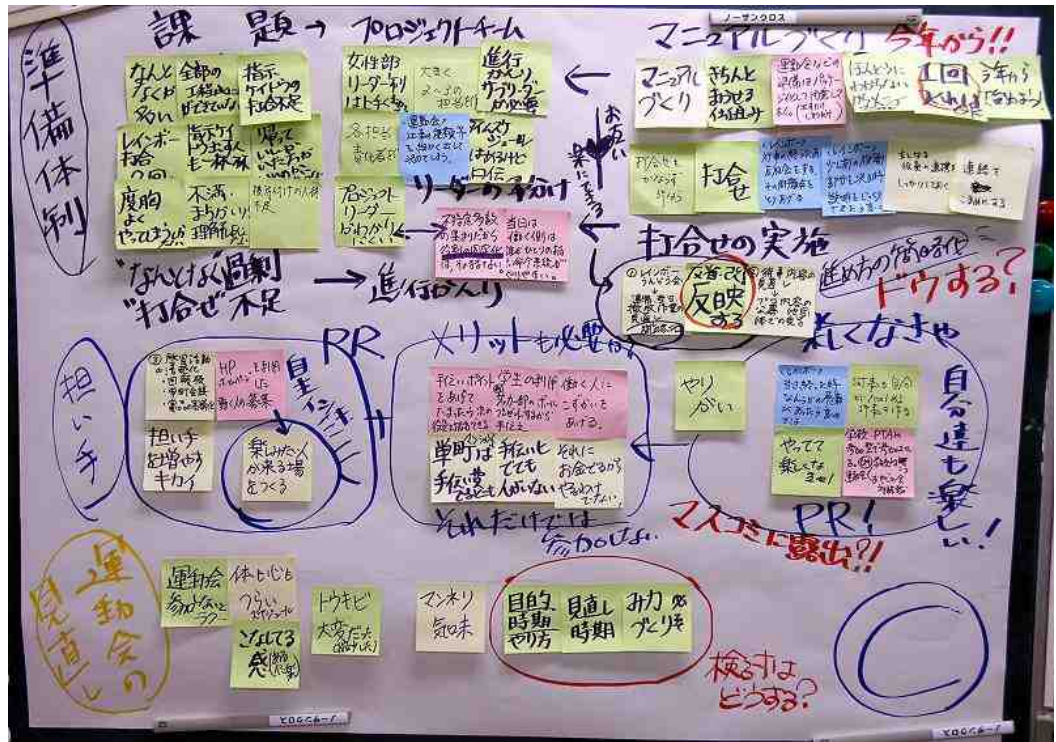
時間的な負担への対策：

- ・イベントの整理
- ・準備スケジュールの作成
- ・各行事の連携と効率化





Cグループ



「レインボーサマーフェスティバル」の主な対策イメージ

